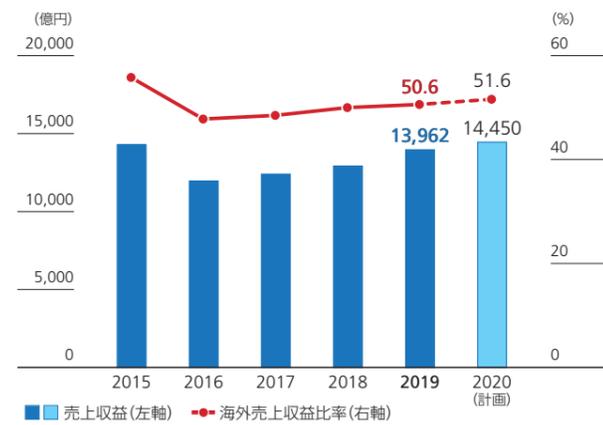


財務・非財務ハイライト

主なCSRデータはこちらにあります
https://www.otsuka.com/jp/csr/hd_activity/download/MajorCSRData_jp.pdf



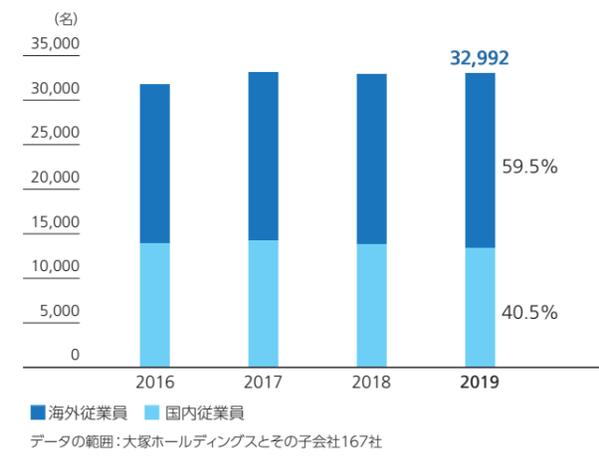
売上収益／海外売上収益比率



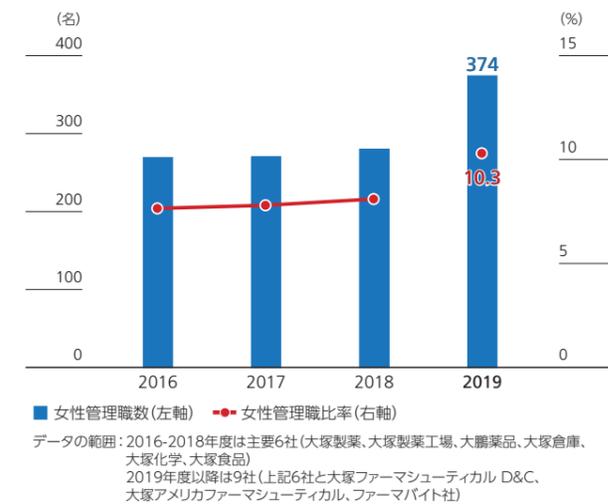
事業利益／事業利益率



従業員数



女性管理職数／女性管理職比率



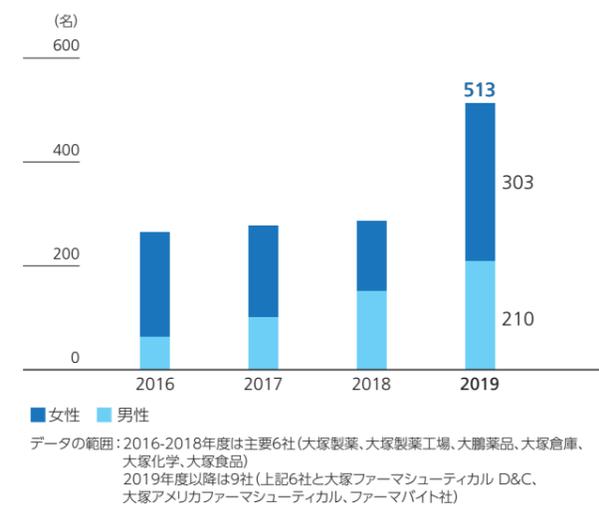
親会社の所有者に帰属する当期利益／親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)



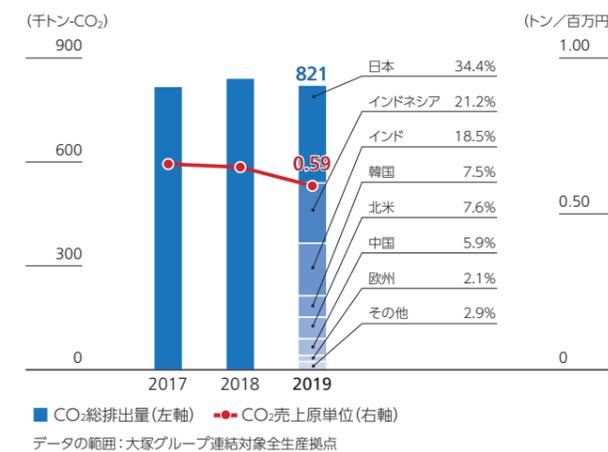
研究開発費(医療関連事業)／研究開発費率



育児休職取得者数



CO₂総排出量



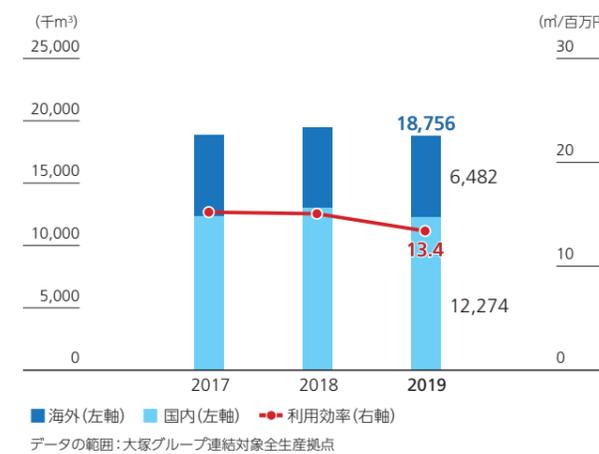
資産合計／親会社所有者帰属持分比率



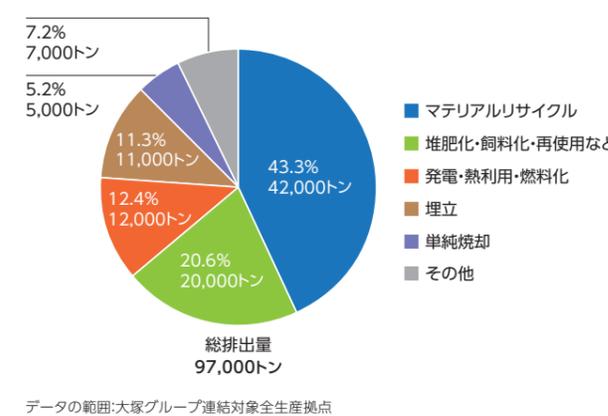
1株当たり配当金／配当性向



水使用量と利用効率



廃棄物総排出量



主要データ

2016年12月期より国際財務報告基準(IFRS)を適用しています。なお、2015年12月期の数値についてもIFRSに準拠して開示しています。

科目名 ^{*1}	(単位)	日本基準				IFRS					(単位)	IFRS	
		2012.3	2013.3	2014.3	2014.12 ^{*5}	2015.12	2016.12	2017.12	2018.12 ^{*6}	2019.12		2019.12 ^{*7}	
業績													
売上収益	(億円)	¥11,546	¥12,181	¥14,528	¥12,243	¥14,274	¥11,955	¥12,400	¥12,920	¥13,962	(百万米ドル)	\$12,744	
販売費及び一般管理費 ^{*2*}	(億円)	4,574	4,622	5,634	5,086	6,175	5,195	5,314	5,528	5,576	(百万米ドル)	5,090	
研究開発費投資前事業利益	(億円)					3,698	2,857	3,054	3,138	4,030	(百万米ドル)	3,678	
研究開発費投資前事業利益率	(%)					25.9	23.9	24.6	24.3	28.9	(%)	28.9	
研究開発費 ^{*3}	(億円)	1,592	1,924	2,490	1,729	1,996	1,526	1,740	1,929	2,158	(百万米ドル)	1,970	
研究開発費率	(%)	13.8	15.8	17.1	14.1	14.0	12.8	14.0	14.9	15.5	(%)	15.5	
事業利益 ^{*4}	(億円)					1,702	1,331	1,314	1,209	1,872	(百万米ドル)	1,708	
事業利益率	(%)					11.9	11.1	10.6	9.4	13.4	(%)	13.4	
営業利益	(億円)	1,487	1,697	1,987	1,965	1,489	1,011	1,042	1,083	1,766	(百万米ドル)	1,612	
営業利益率	(%)	12.9	13.9	13.7	16.1	10.4	8.5	8.4	8.4	12.6	(%)	12.6	
親会社の所有者に帰属する当期利益	(億円)	922	1,224	1,510	1,431	1,020	926	1,125	825	1,272	(百万米ドル)	1,161	
財政状態													
資産合計	(億円)	¥16,668	¥17,792	¥20,284	¥21,782	¥25,753	¥24,783	¥24,803	¥24,774	¥25,813	(百万米ドル)	\$23,561	
資本合計	(億円)	12,228	13,251	15,108	16,586	17,274	17,384	18,220	17,323	17,954	(百万米ドル)	16,388	
親会社所有者帰属持分比率	(%)	72.5	73.7	73.2	74.7	66.0	69.0	72.3	68.8	68.4	(%)	68.4	
ROE	(%)	7.8	9.7	10.8	9.2	6.1	5.4	6.4	4.7	7.3	(%)	7.3	
キャッシュ・フロー													
営業活動によるキャッシュ・フロー	(億円)	¥ 1,476	¥ 1,193	¥ 2,265	¥ 885	¥ 2,579	¥ 1,420	¥ 1,028	¥ 1,358	¥ 1,926	(百万米ドル)	\$ 1,758	
投資活動によるキャッシュ・フロー	(億円)	△1,076	△912	△1,085	△287	△4,226	△1,351	△401	△933	△523	(百万米ドル)	△477	
フリー・キャッシュ・フロー	(億円)	400	281	1,179	599	△1,647	69	628	425	1,404	(百万米ドル)	1,281	
配当金情報													
1株当たり配当金	(円)	¥ 45	¥ 58	¥ 65	¥ 75	¥ 100	¥ 100	¥ 100	¥ 100	¥ 100	(米ドル)	\$ 0.91	
配当性向	(%)	27.2	26.1	23.4	28.4	53.1	58.5	48.2	65.7	42.6	(%)	42.6	
株式・株価													
期末発行済株式総数	(千株)	557,836	557,836	557,836	557,836	557,836	557,836	557,836	557,836	557,836	(千株)	557,836	
期末株価	(円)	¥ 2,450	¥ 3,300	¥ 3,087	¥ 3,617	¥ 4,317	¥ 5,093	¥ 4,948	¥ 4,493	¥ 4,883	(米ドル)	\$ 44.57	
従業員数^{*8}													
合計	(名)	24,595	25,330	28,288	29,482	31,940	31,787	32,817	32,935	32,992			
国内	(名)	13,808	13,732	14,116	14,285	14,082	13,909	13,880	13,757	13,356			
海外	(名)	10,787	11,598	14,172	15,197	17,858	17,878	18,937	19,178	19,636			

※1 IFRSの科目名で表示しています。

※2 日本基準の販売費及び一般管理費は、IFRSとの業績比較のため、研究開発費を差し引いて算出しています。

※3 減損損失を除いています。

※4 事業利益=売上収益-売上原価-販売費及び一般管理費+持分法投資利益-研究開発費

※5 2014年度については決算期変更に伴い2014年4月1日から2014年12月31日の9カ月間の数値を記しています。

※6 2019年12月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2018年12月期に係る数値については、暫定的な会計処理の確定内容を反映させています。

※7 1米ドル=109.56円で換算しています。

※8 大塚ホールディングス株式会社とその子会社167社の従業員数(2019年12月31日現在)

会社概要／グローバルネットワーク

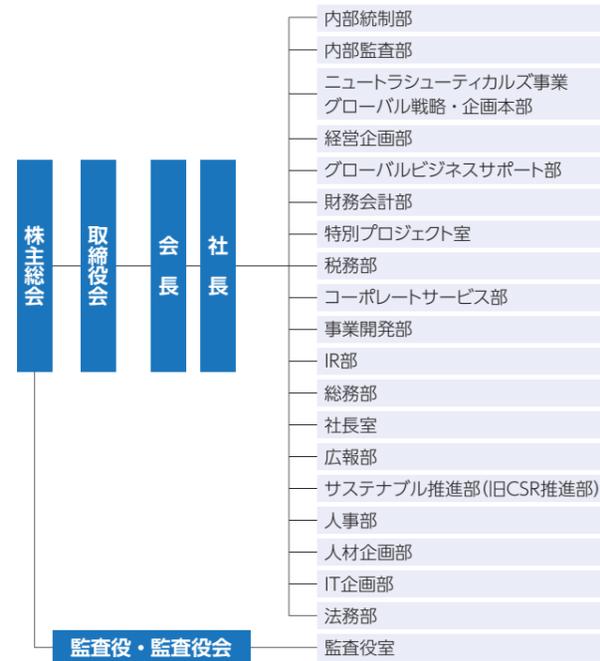
会社概要

(2019年12月31日現在)

会社名	大塚ホールディングス株式会社 (Otsuka Holdings Co., Ltd.)
設立	2008年7月8日
資本金	816億90百万円
本店	〒101-0048 東京都千代田区神田司町二丁目9番地
東京本部	〒108-8241 東京都港区港南二丁目16番4号 品川ブランドセントラルタワー
電話番号	03-6717-1410(代表)
従業員	104名 (大塚ホールディングス連結従業員数：32,992名)
事業内容	医療関連事業、ニュートラシューティカルズ関連事業、消費者関連事業、その他の事業を営む会社の株式を所有することによる当該会社の事業活動などの支配および管理ならびにそれに附帯関連する一切の事業等

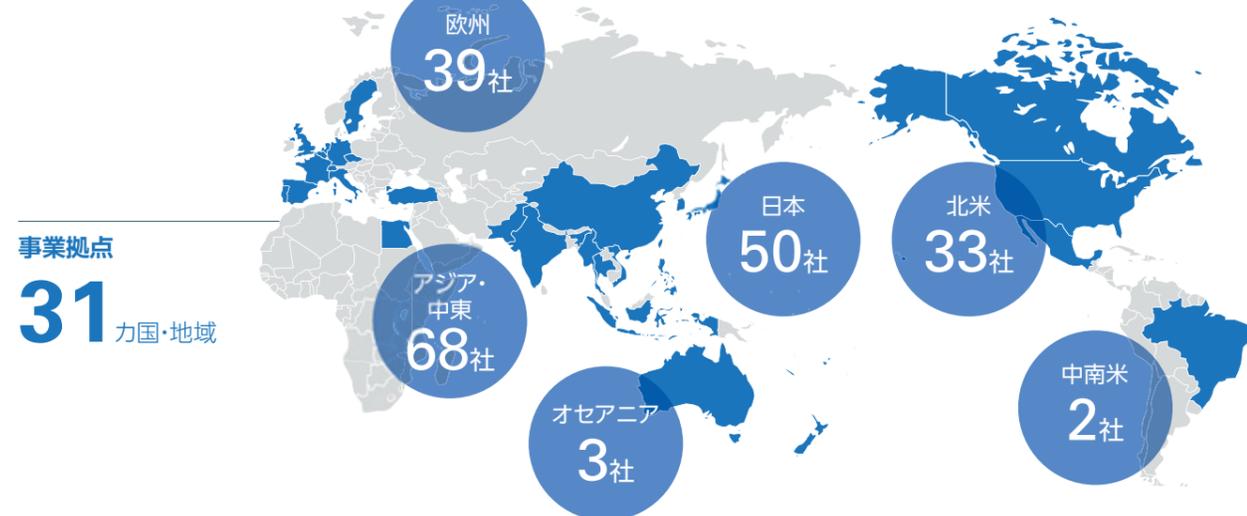
組織図

(2020年4月1日現在)



グローバルネットワーク

(2019年12月31日現在)



グループ構成と事業会社概要

大塚グループ企業理念

Otsuka-people creating new products for better health worldwide

世界の人の健康に貢献する革新的な製品を創造する

概要

大塚グループは、1921年に創業し、世界の人の健康への貢献を目的に、疾病の診断から治療までを担う「医療関連事業」と日々の健康の維持・増進をサポートする「ニュートラシューティカルズ*1 関連事業」の2本柱で事業を展開しています。歴代の経営者が育んできた「流汗悟道」「実証」「創造性」という大塚の伝統を受け継ぎ、現在では世界31カ国・地域、195社で47,000人*2の社員が、大塚らしいユニークな製品・サービスを提供し続けるため活動を行っています。

*1. ニュートラシューティカルズ：Nutraceuticals = nutrition (栄養) + pharmaceuticals (医薬品) *2. 2019年12月末現在。大塚ホールディングスおよびその子会社、関連会社

グループ構成

- 大塚製薬株式会社** 人々の健康を身体全体で考え、疾病の治癒から日々の健康増進までを目指したトータルヘルスケアカンパニー
 世界の人の健康に貢献する革新的な製品を創造することを企業理念に、「世界の患者さんへ新しい治療薬を提供する医療関連事業」と「健康な人をより健康にする製品を提供するニュートラシューティカルズ関連事業」の両輪で、事業展開を行っています。
- 株式会社大塚製薬工場** 大塚グループ発祥の会社、70年以上にわたり輸液事業に取り組む、日本の輸液のリーディングカンパニー
 大塚製薬工場は、「The Best Partner in Clinical Nutrition」(臨床栄養領域における患者さんや医療従事者のベストパートナーを目指す)を経営ビジョンとし、医療用医薬品、医療機器のみならず、経口補水液をはじめとするメディカルフーズ、OTC医薬品(一般用医薬品)など、さまざまなニーズに対応した革新的な製品を創造し、日本・アジアを中心にグローバルな事業を展開しています。
- 大鵬薬品工業株式会社** がん領域に取り組んで半世紀、日本の経口抗がん剤のバイオニア
 「私たちは人びとの健康を高め 満ち足りた笑顔あふれる 社会づくりに貢献します。」を企業理念とし、「がん」、「免疫・アレルギー」、「泌尿器」の3領域に特化した研究開発型スペシャリティファーマです。特にがん領域においては、国内におけるリーディングカンパニーの一つとして知られており、グローバル化も積極的に推進しています。コンシューマーヘルスケア事業でも生活者のインサイトを探求し、生活者に寄り添った新しい製品づくりに注力しています。
- 大塚倉庫株式会社** ロジスティクス(物流)領域で世界の人の健康に貢献
 創業以来、一貫して医薬品・食品の物流を中心に事業展開を行っています。大塚グループの医薬品、飲料・食品、日用品を3本柱として物流事業の共通プラットフォームを構築し、近年ではグループ外への物流の仕組みを提案する物流企業としての成長を目指しています。
- 大塚化学株式会社** 「将来を見据えた素材の力」を顧客とともに創造的に「かたち」にします
 素材を核とし、常に技術革新を行い、豊かな暮らしを社会にもたらす製品づくりを目指しています。ヒドラジン関連事業、無機素材・複合材事業、医薬中間体・原薬事業を中心とし、「自動車」「電気・電子」「住宅」「医療」分野へグローバルに製品を提供しています。
- 大塚食品株式会社** 1955年の創業以来、新しい食生活スタイルを提案する高付加価値商品を創造
 「会社にはじまり、食は心にはじまる」をモットーに、「美味・安全・安心・健康」を社員全員の「食」の心として、事業を行っています。現在、超高齢社会の到来、健康・環境・人口問題等々社会環境は大きく変化しています。大塚食品はこのような社会変化に伴う課題の解決に向けて、お客さまに必要とされる商品を創出・提案し、皆さまに貢献できる企業を目指して挑戦続けていきます。
- 大塚メディカルデバイス株式会社** 新しいテクノロジー導入により大塚らしい医療機器事業を目指す
 現在は、日本、中国などのアジアを中心に展開している医療機器事業を、将来的にはグループの中心事業の一つとしてグローバルに成長させていきます。大塚グループの医療事業の経験、ノウハウを集結させ、新しいテクノロジー導入と融合させた新規デバイスにより新たな医療ニーズに応えることで事業の展開を進めていきます。

大塚グループの情報開示

大塚グループでは、統合報告書で財務・非財務情報の概要を報告しています。さらに、有価証券報告書や決算説明会、およびその資料、ならびに研究開発に関する情報など、ウェブサイトからご覧いただけます。

ウェブサイト

<https://www.otsuka.com/jp/>



株主・投資家の皆さまへ

<https://www.otsuka.com/jp/ir/>



大塚グループのCSR

<https://www.otsuka.com/jp/csr/>



■ 統合報告書について

大塚ホールディングスは、2017年度報告分から従来の「アニュアルレポート」と「CSR報告書」を統合し、財務情報と非財務情報をまとめた統合報告書として発行しています。本レポートを通じ、ステークホルダーの皆さまに「世界の人々の健康に貢献する、なくてはならない企業」を目指す当社グループについて、より深くご理解いただければ幸いです。

■ 対象期間

2019年度(2019年1月1日~2019年12月31日)ただし、一部2020年1月以降の情報を含みます。

■ 対象範囲

原則として大塚ホールディングス株式会社とその子会社を対象としています。活動やデータについて範囲を限定する場合は、本レポート中に注記しています。

■ 参考にしたガイドライン

- ・ IIRC「国際統合報告フレームワーク」
- ・ GRI「GRIサステナビリティ・レポート・スタンダード」
- ・ ISO26000
- ・ 環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」
- ・ 経済産業省「価値協創ガイダンス」 など



■ 見通しに関する注意事項

この統合報告書は、2019年12月期の実績および2020年1月1日からこの統合報告書発行日までの活動内容に基づき、大塚グループ(大塚ホールディングス株式会社およびその子会社)に関する情報を掲載しています。この統合報告書は、大塚グループの計画、見通し、戦略、業績などに関する将来の見通し、予測を含んでいます。この見通し、予測は、この統合報告書発行日現在、入手可能な情報から得られた分析、判断に基づいています。したがって、実際の結果は、見通し、予測と異なることがあり、リスクや不確実性を含んでいることをご承知おきください。

■ 製品情報に関する注意事項

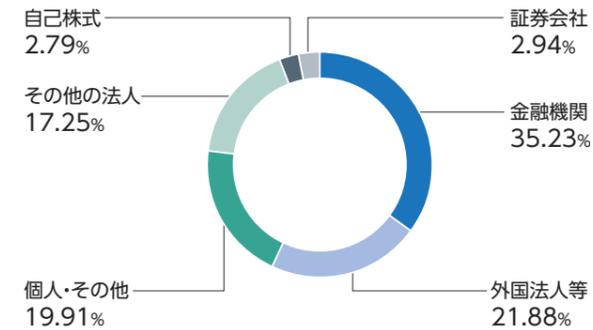
この統合報告書では読みやすさを重視し、各国別名で上市している製品については統一した製品名で表記しています。そのため、それら製品は国によって、異なる製品名、適応症、用量などで販売されている場合があります。また、それら製品はすべての国で販売されているものではありません。なお、医薬品(開発中の製品を含む)に関する情報は、広告、宣伝あるいは医療上の助言を意図するものではありません。

株式の状況

(2019年12月31日現在)

発行可能株式総数 1,600,000,000株
 発行済株式の総数 557,835,617株
 株主数 62,219名

株式分布状況



年間株価最高値・最安値・ボラティリティ

年度	最高値(円)	最安値(円)	ボラティリティ(%) (標準偏差)
2019	5,072	3,434	27.61%
2018	5,832	4,331	29.07%
2017	5,895	4,290	14.20%
2016	5,139	3,467	17.69%
2015	4,774	3,433	20.22%
2014	4,019	2,773	19.24%
2013	3,630	2,454	27.09%
2012	2,512	2,100	9.89%
2011	2,252	1,737	13.77%

株価推移



大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
野村信託銀行株式会社 大塚創業家持株会信託口	57,815	10.66
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	40,246	7.42
大塚エステート株式会社	23,296	4.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	22,991	4.23
大塚グループ従業員持株会	12,998	2.39
株式会社阿波銀行	10,970	2.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	7,728	1.42
大塚アセット株式会社	7,380	1.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	6,920	1.27
JP MORGAN CHASE BANK 385151	6,755	1.24

持株数は千株未満を切り捨てて表示しています
 当社は、自己株式を15,564,187株保有していますが、上記大株主からは除外しています
 持株比率は自己株式を控除して計算しています

株主総利回り(トータル・シェアホルダーズ・リターン)

年度	2015	2016	2017	2018	2019
(%)	122.1	146.3	145.1	135.3	148.8
(比較指標: 配当込み TOPIX)	(112)	(112)	(137)	(116)	(136)